

2025 年 4 月 30 日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号:03F2120311	氏名 F.A	在住 埼玉県
-----------------	--------	--------

■ 受検のきっかけ

様々な領域でキャリアコンサルティングを行っていますが、その中でキャリアコンサルタントの試験に合格した方々とお会いすると、資格取得後の活躍の方向性に迷う、資格を取得したものの自信を持って面談が出来ない、面談力に自信がないという相談をよく受けるようになりました。また世の中の動きや資格普及拡大に伴い、スーパービジョンを担える指導者の存在意義を強く感じるようになり、1 級取得を決めました。自身が使える時間を算出し、学科受験と実技受験を分けようと決め、初年度 13 回試験は実技（論述と面接）に注力、翌年 14 回試験で学科を受験し、それぞれ合格しました。

■ 学科試験対策

2 級取得から 10 年近く期間があいていたため、いちキャリアコンサルタントとしてだけでなく、指導者としての社会情勢も踏まえた本質的な学びを追究したいと考え、はじめは「キャリアコンサルティング関連情報集」で一通りの情報整理を行いました。その後、「1 級技能士の会」の書籍を活用しました。キャリアの赤本、キャリアの青本Ⅲ、青本Ⅳプラス、さらに 1 問 1 答赤本リスニングを聞き、視覚聴覚をフル活用しながら、インプットとアウトプットを行いました。過去問は 3 回分を何周か実施しました。

■ 論述試験対策

初受検で一発合格できたのは、間違いなく「1 級技能士の会」の 1 級実技試験合格バイブルと、論述対策講座受講のおかげです。田中先生が講座の中で解説してくださる話と、講座資料を何度も読み、自分なりに整理しまとめました。解答例を写経して覚えるようにと指導しているスクールもあるようですが、私は写経では本質的な理解にはならないと考えていたため、例はあくまでも“どこがポイントなのか”を見極める材料とし、自分なりに読み解く手がかりとして整理することに注力しました。おかげで高得点合格できました。

■ 面接試験対策

はじめから迷わず、「1 級キャリア塾」の受講を決めました。23 年夏から受講スタートし、指導者とはなんたるか、の理解を深めました。また半年後の年明けには、対面での講座も受講したいと考え、「1 級面接対策 ケース分析を踏まえた対応法とワンランク上の面接 RP 三昧の 3 日間」に参加しました。そこでは 1 級技能士の会の先輩方が多数サポートに来て下さり、個別に各 1 級の方々から FB やお話を伺う機会が得られました。指導者としての姿勢やものの見方、着眼点、考え方など、対面だからこそひしひしと感ずることが

でき、この時間がとても有益であったと思います。

さらに、自身としての総仕上げのつもりで、試験直前に「試験直前 講師が事例相談者役となり成功体験するオンラインロープレ講座」を受講し、自身のスタイルを整理できたことで、試験当日、リラックスして自分らしく臨めたと思います。

■ 今回の面接試験を振り返って

試験当日は、不思議と落ち着いて臨めました。そこまでの約1年弱の期間、1級キャリア塾や各講座で体系的に整理し、理解を深められていたことが、自分の血肉になっていると感じられたからだと思います。試験に受かろうというよりも、指導者として目の前の事例相談者の成長のために、と本心から思っていたと感じています。キャリアコンサルティングの世界を良質なものにしたいという気持ちはもちろんのこと、そのためにはキャリアコンサルタント一人ひとりが自分自身の枠組み(癖や偏り)に気づくことが重要性であると何度も講座の中で奥田先生に言われていたからかもしれません。試験では当然、抵抗のような時間はありました。しかしそこにこそヒントがあると思えました。事例相談者の枠組みが抵抗となって表れているため、しっかり傾聴し、受容しながらも、私自身も心から大切にしているキャリアコンサルタントの存在意義を、事例相談者と共に理解を深め、共にそういう世界を創りたい、だからこそ気づいてほしいと思って関わっていたら、あっという間の30分でした。

私自身も成長を感じられる1年でした。素敵な出会いに感謝しています。そして、これからは指導者として、1級技能士の会の方々と共に、より本質的なキャリア支援者を増やせるよう尽力していきたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします！

以上